

脳ドックのご案内

30年前まで日本人の死因第1位は脳卒中でした。

現在は第3位に下がりましたが、入院数や寝たきりになる疾病としては第1位です。脳卒中の1つである「くも膜下出血」は脳ドックを受けることで確実に予防できます。

2025年には団塊の世代が75歳をむかえます。

人口の高齢化に伴い、認知症が社会問題となっています。これを早期発見し、有効な診療を行うことにより予防も可能な時代になってきました。

脳は大切な器官です。脳ドックを受けて脳を守り、健康な日々を送りませんか？

検査の内容

頭部 MRI 検査 (頭部断層撮影)	頭部を色々な角度から撮影し、無症状のうちに発生した脳腫瘍・脳梗塞・脳出血の有無を検査します。
頭部 MRA 検査 (頭部血管撮影)	脳動脈を撮影することで、くも膜下の原因となる動脈瘤や、脳梗塞の原因となる脳動脈硬化（脳動脈の狭窄・閉塞・拡張・蛇行・延長）の程度が分かります。
頭頸部 MRA 検査 (頭頸部血管撮影)	頸部から頭部にかけての動脈を撮影します。頸部動脈の奇形や脳梗塞の原因となる狭窄・蛇行・閉塞が分かります。
頸部エコー検査 (頸部超音波)	超音波診断装置により頸髄管の狭窄や内頸動脈、頸部の血管狭窄、コレステロール・プラーク（コレステロールが血管の壁に入り込んで出来た'こぶ'）の有無を調べます。
心電図検査	狭心症や心筋梗塞、虚血性心疾患などの心臓の疾患を調べます。

検査で分かること

- ・脳梗塞の発見
- ・無症候性脳梗塞（自覚症状の無い脳梗塞）の発見
- ・未破裂動脈瘤（くも膜下出血の原因となる動脈の'こぶ'）の発見
- ・脳卒中の危険因子の発見
- ・老人性認知症（アルツハイマー病など）の発見
- ・ろれつが回らない、半身不随など
- ・脳腫瘍など機能的、器質的脳疾患
- ・頸部脊髄管狭窄症、頸椎ヘルニアの発見 など

ご予約・お問い合わせ

ご予約・お問い合わせは、お電話にてお願いします。

電話番号：0544-22-4100



医療法人社団 三賢会

富士宮中央クリニック
健康診断科